

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～23	日 本 史	24～41
世 界 史	42～56	地 理	58～69
数 学	70～75		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

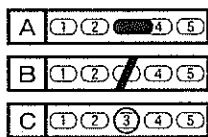
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

1644年3月19日、反乱軍^(A)に包囲される都の中で崇禎帝^(B)が自害し、明朝は滅亡した。5月2日、清軍が都に入り、漢人は清という異民族王朝の支配下に入るようになった。これ以降、漢人の学者たちは明朝滅亡の原因を探求することになる。明代は周辺諸民族⁽¹⁾からの外圧に苦しんだ時代であり、北虜南倭という言葉がよく知られているが、学者たちがより重視したのは明朝の墮落による内部崩壊であった。とりわけ宦官の跋扈は明朝の墮落をもたらした一大要因とされた。

明代に最初に専権を握った宦官は王振であるが、彼は自らの功名のために皇帝の親征を強行し、土木の変⁽²⁾という国家存亡の危機を招くこととなった。次に専権を握った宦官が16世紀初頭の劉瑾である。時の皇帝は劉瑾ら八人の宦官に政治を委ね、享楽に耽った。劉瑾の下では賄賂が横行し、とくに軍官の任免は賄賂次第という有様で、これは明軍⁽³⁾の弱体化を招き、周辺諸民族との戦いに敗れる要因となった。

16世紀後半に官僚の張居正⁽⁴⁾が専権を握り、明の国勢は上向いたが、彼の死後、皇帝^(a)の浪費や「三大征」と呼ばれる大きな戦争によって明朝の財政は逼迫した。そこで皇帝は宮殿造営費の調達を名目に、銀の鉞山の開発と新たな商税の徴収を強行し、監税使として宦官を各地に派遣した。しかしこれは「鉞税の害」と呼ばれる宦官たちによる不法な収奪を横行させ、各地で抵抗運動⁽⁵⁾が起こることになった。宦官の跋扈は官界にも影響を与え、宦官に反対する派閥と宦官と手を組んで政権を握ろうとする派閥が生まれることになった。これが東林派^(c)と非東林派である。宦官の魏忠賢は非東林派を配下に収めて専権を握ると、東林派に対する大弾圧を行った。崇禎帝が即位すると、魏忠賢とその一派も失脚することとなったが、東林派の有力な指導者たちはすでに失われており、明末の難局に対応できる状態ではなく、明朝は滅亡へと向かったのである。

では、なぜ明の時代に宦官が跋扈することになったのだろうか。

そもそも明を建国した朱元璋は、歴史に鑑みて宦官の政治への関与を固く禁じていた。次に孫の朱允炆が皇帝になると、儒家官僚たちの影響をうけて宦官を抑圧するようになった。そのため、叔父の朱棣が反乱を起こすと、宦官たちは朱棣による皇帝位の篡奪に積極的に協力した。また、篡奪者である朱棣に対しては、宗族や儒家官僚たちの中に批判的な者が少なくなく、朱棣は強い猜疑心を抱いていた。こうして朱棣にとって最も信頼できる側近は宦官になっていき、「東廠」という秘密警察を作り宦官をその長とするなど、宦官を重用するようになったのである。

一方、建国者である朱元璋は極めて強い君主独裁体制を志向し、宰相を廃止して最終決済の全てを皇帝一人が担うこととしたのである。⁽⁶⁾しかし実際に膨大な上奏文の全てを一人で処理することは不可能であったため、補佐を必要とした。そこで優秀な官僚を補佐官として宮中に置き、皇帝の秘書・顧問役としたが、次第にこの補佐官の原案通りで決済することが一般的となり、補佐官の首席が実質的な宰相となっていく。だが、補佐官からの原案が皇帝に届くには宦官による整理を必要とし、皇帝の決済文も宦官が代筆していた。ここで宦官の意見と補佐官の意見が食い違うこともあった。その場合、宦官は東廠を通じて得た情報(時にねつ造された情報もあった)を利用することで皇帝の支持を得て、自分たちの意見を最終決定とした。そして皇帝が意欲を失った時、政治は宦官任せになったのである。

しかし、宦官の全てが常に負の存在だったわけではない。南海遠征で有名な鄭和や、土木の変の時に名臣の于謙とともに国を守った興安のように、傑出した功績を残した宦官もいた。張居正の専権もまた馮保という宦官と手を結ぶことで初めて可能になったのである。

君主独裁体制が側近政治に頼らざるを得ない以上、宦官の跋扈は不可避であったと言える。宦官を制御できるか否かはその時々々の皇帝次第なのだが、そもそも一人の人間が全ての権力を握るという体制が本源的に持つ非人間的な性格の顕れが、宦官の専権であり、社会の墮落であったと考えるべきだろう。

崇禎帝の自害をもって明朝は滅亡したが、帝の自害の時、最期まで側に仕え死を共にしたのは、宦官の王承恩ただ一人だったという。孤独な存在である皇帝にとって、宦官は不可欠な存在だったのである。

世界史

問1 下線部(1)について、この頃(14世紀後半～17世紀前半)の周辺諸民族に関する記述として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 初代ダライ=ラマとされたのは、ツォンカパであった。
- イ ダライ=ラマという称号は、アルタン=ハンにより始められた。
- ウ 北元と呼ばれる旧元朝の勢力は、ダヤン=ハンに滅ぼされた。
- エ 内モンゴルを支配していたチャハル部は、ヌルハチに滅ぼされた。
- オ 清という国号は、ヌルハチによって定められた。

問2 下線部(2)について、土木の変に関する記述として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 韃靼のエセンによって、欽宗が殺された。
- イ 韃靼のエセンによって、正統帝が捕らえられた。
- ウ オイラトのエセンによって、正統帝が殺された。
- エ オイラトのエセンによって、欽宗が捕らえられた。
- オ オイラトのエセンによって、正統帝が捕らえられた。

問3 下線部(3)について、明朝の軍隊に関する記述として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 朱棣は自ら軍隊を率いてモンゴルに遠征した。
- イ 上から皇帝—都護府—五軍都督府という統属関係を作った。
- ウ 朱元璋が率いた軍隊は節度使時代からの部下を中心としていた。
- エ 衛所制は唐代の募兵制を参考にした。
- オ 軍籍に入れられた家を軍戸と言い、戸部の管轄下に置いた。

問4 下線部(4)について、張居正に関する記述として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 張居正は一条鞭法を考え出し、税制を改革した。
- イ 張居正は財政再建のために全国的な土地測量を実施した。
- ウ 張居正はアルタン＝ハンを討伐し、帰順させた。
- エ 張居正は海禁を解き、外国との貿易を活性化させた。
- オ 張居正は賦役黄冊を廃止した。

問5 下線部(5)について、農村では、小作料をめぐる佃戸が地主に抵抗したが、この抵抗運動の呼称として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 打ち壊し
- イ 仇教運動
- ウ 抗租運動
- エ 奴変
- オ 民変

問6 下線部(6)について、明代の制度は唐代の制度にならうものが多かったが、君主独裁をより強めるために廃止されたものもあった。朱元璋によって廃止されたものとして正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 科挙
- イ 律
- ウ 中書省
- エ 六部
- オ 兩税法

問7 下線部(7)について、鄭和が信仰した宗教として正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 全真教
- イ 白蓮教
- ウ イスラーム教
- エ キリスト教
- オ マニ教

世界史

問8 下線部(a)(b)について、これらの皇帝の名前の組み合わせとして正しいものを、ア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア (a)正統帝 (b)建文帝

イ (a)道光帝 (b)正統帝

ウ (a)道光帝 (b)順治帝

エ (a)万暦帝 (b)建文帝

オ (a)万暦帝 (b)順治帝

問9 下線部(A)について、この反乱軍の指導者の名前を解答欄に漢字で記入せよ。

問10 下線部(B)について、この皇帝の時代に『崇禎暦書』という暦法書が編纂されたが、その編纂者であった漢人官僚の名前を解答欄に漢字で記入せよ。

問11 下線部(C)について、東林書院の建設において中心的な役割を果たし、東林派の指導者となった人物の名前を解答欄に漢字で記入せよ。

問12 下線部(D)について、反乱の時、朱棣が本拠地としていた都市の名称を解答欄に漢字で記入せよ。

問13 下線部(E)について、朱棣の反乱から篡奪にいたるこの事件の呼称は、朱棣が掲げた「君側の奸を除き、帝室の を んず」というスローガンに因んでいる。朱棣のスローガンのなかの空欄 と のそれぞれに入る漢字を解答欄に記入せよ。

問14 下線部(F)について、のちに実質的な宰相としても機能するようになったこの補佐官の名称を解答欄に漢字で記入せよ。

〔Ⅱ〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

イギリスの作家 E. M. フォースターの『インドへの道』は、作者のインド滞在経験を契機に書かれた長編小説で、イギリス植民地⁽¹⁾下のインド社会における、統治者としてのイギリス人と被統治者としてのインド人の間の複雑な人間関係を描いている。このフォースターの小説にも出てくる、統治者としてのイギリス人の代表的存在であったのが、植民地政府のイギリス人行政官であった。公開試験で選抜された上級官吏として、彼らはイギリス人の実業家や宣教師らとともに、イギリスの利益となる植民地の近代化を推し進めていった。こうした近代化策の一つが、内陸部の原料生産地と輸出港を結ぶ鉄道開発⁽²⁾であった。1905年までに4万5千キロ近くの鉄道がインドで建設された。また、教育の普及も推進された。これにより、インドにおける行政機構やイギリス商社が必要としていた、英語が堪能で有能な下級官吏や事務職員を、教育を受けたインド人の中から低賃金で採用することが可能になった。しかし教育の普及は、統治者としてのイギリス人が意図しなかった結果も生んでいく。

教育を受けたインド人たちは、民衆のあいだで民族運動⁽³⁾を組織していった。1885年に結成されたインド国民会議派の指導者の一人であったナオロジーは、インドの貧困の原因はインドからイギリスへの「富の流出」にあるとし、イギリスの植民地支配に批判の矛先を向けた。教育を受けたインドの民族主義者たちは、イギリス領植民地期アメリカの反英運動のスローガンの一つ「代表なくして課税なし」⁽⁴⁾を掲げ、インド人の手で国庫をコントロールする重要性を唱えていった。このインドにおける民族運動の展開を後押ししたのが、「インドの過去」の再発見を通じた民族意識の醸成であった。19世紀後半に始まる宗教・社会改革運動において、インド社会の再生と復興の道は古典のヒンドゥー教の伝統への回帰にあるという考えが広められ、復古主義的な民族意識が喚起された。北インドでは、ヒンドゥー教の象徴的存在としての牝牛の保護を唱える運動が展開され、反英感情が鼓舞される一方、牛肉を食べるムスリムとの対立⁽⁵⁾も生じていった。こうした民族意識の高揚に伴う宗教間の軋轢に乗じる形で、インド総督カーズンはベンガル州⁽⁶⁾をヒンドゥー教徒の多い地域とムスリムの多い地域の二つに分割する法令を出し、

世界史

民族運動の興隆の阻止を試みた。この分割令に対して、民衆の側から激しい反発が起こり、大規模な抗議運動が起こった。ベンガル出身の文学者でノーベル文学賞を受賞した A は、民族歌「我が黄金のベンガル」を創作し、民衆はこの民族歌を歌いながら街路を行進した。また国民会議派は、この抗議運動のなかで、インド民族運動の目標は、イギリス本国やその自治領と同様の自治政府の樹立にあると宣言し、国産品の愛用や英貨排斥⁽⁷⁾を唱えた。

第一次世界大戦期に入ると、戦争後にインドに自治政府を要求する運動がインド各地で繰り広げられていった。また、戦を求めて北米に渡ったパンジャブ出身の B 教徒の移民たちが、革命的な反英戦争の遂行を計画するなど、革命的運動の機運も生じた。こうしたインド内外における急速な民族意識の高揚を受け、イギリスは戦後にインドにおける自治を漸進的に実現していく約束をした。しかし、戦争が終わるとイギリスはこの約束を反故にするとともに、民族運動弾圧のための治安維持法としてローラット法を發布した。これに抗議したパンジャブ州の民衆に対して、イギリス軍は無差別発砲し、多数の死傷者を出す C 事件が起こった。こうした状況のなか、ガンディーの指導のもと、非暴力・不服従を掲げた反英運動が展開された。これに呼応する形でムスリム側も、ヨーロッパの侵略に対抗するためにイスラーム世界の団結を唱えたパン＝イスラーム主義⁽⁹⁾の影響を受けたアリー兄弟らを中心に反英運動を展開した。しかし、D 革命によりスルタン制が1922年に廃止されたことでオスマン帝国が消滅し、また1924年にはカリフ制が廃止されたことで運動は下火になっていった。

この時期から、インドでは社会主義思想が急速に広がり、国民会議派においてネルーらが指導者として台頭していった。国民会議派は、自治領の地位要求に代わり、完全独立を民族運動の政治的目標として提起するとともに、イギリスが帝国主義的な目的のもと遂行するいかなる戦争にも加担しないことを宣言した。また、世界各地の帝国主義に反対し、アジア・アフリカにおける民族運動を支持する姿勢を打ち出していった。⁽¹⁰⁾

問1 下線部(1)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 アヘン戦争の結果、イギリスの植民地となった香港は、1997年にイギリスから独立した。
- 2 17世紀にイギリスの植民地となったポンディシェリは、1954年にイギリスからインドに返還された。
- 3 16世紀にイギリスの植民地となったゴアは、1961年にイギリスからインドに返還された。
- 4 ウィーン議定書によりイギリスが19世紀に領有権を得たセイロン島は、1948年にイギリス連邦内の自治領として独立した。

問2 下線部(2)に関連して、以下の1～4の文章を年代順に並べた時に、3番目に古いものを選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ドイツがバグダード鉄道の敷設権を獲得した。
- 2 ロシアでシベリア鉄道の建設が始まった。
- 3 アメリカ合衆国の東部地域と太平洋岸を結ぶ初の鉄道が開通した。
- 4 南満州鉄道株式会社が設立された。

問3 下線部(3)に関連して、以下のa～dの文を古い順から正しく並べたものを、下記の1～4から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- a ホセ＝リサルがフィリピン(民族)同盟を結成した。
- b 朝鮮で三・一独立運動が起こった。
- c 「エジプト人のためのエジプト」をスローガンとするエジプトで最初の民族運動が起こった。
- d ベトナムのファン＝ボイ＝チャウが反仏独立運動の組織である維新会を結成した。

1 c → a → d → b

2 b → d → c → a

3 a → d → b → c

4 d → b → c → a

世界史

問4 下線部(4)に関連して、イギリスによる徴税に関する以下の文のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 イギリスは、1765年にベンガル州のディーワーニーをムガル帝国から獲得した。
- 2 イギリスが導入したザミンダーリー制では、耕作農民に土地所有権が認められ、地税は彼らから直接徴収された。
- 3 イギリスが導入したライヤットワーリー制では、旧来の地主・領主に土地所有権が認められ、彼らが地税納入の責任者となった。
- 4 1930年、ガンディーはイギリス植民地政府による地税徴収に反対し、各地の海岸で製塩しながら行進を行った。

問5 下線部(5)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 ガンディーはヒンドゥー教徒とムスリムの融和を否定したため、1948年に暗殺された。
- 2 インド＝パキスタン戦争(第3次)の結果、バングラディシュは1971年にインドから独立した。
- 3 インドとパキスタン間で争われていたカシミール帰属問題は、ダライ＝ラマ14世のインドへの亡命を契機に武力衝突に至った。
- 4 全インド＝ムスリム連盟の指導者であったジンナーは、インドと分離して独立したパキスタンの初代総督になった。

問6 下線部(6)の分割令が撤回された年に起った出来事について述べている文を、以下から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 インド統治法が制定された。
- 2 カルカッタからデリーへの遷都が行われた。
- 3 英貨排斥・国産品愛用・自治獲得・民族教育など4綱領が国民会議カルカッタ大会で採択された。
- 4 全インド＝ムスリム連盟が結成された。

問7 空欄 に入る最も適切な人物の名前を、以下から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 アンベードカル | 2 タゴール |
| 3 ティラク | 4 ラーム＝モーハン＝ローイ |

問8 下線部(7)に関連して、1931年のウェストミンスター憲章でイギリスとの対等な関係が規定された以下の自治領のうち、20世紀に入ってからイギリスの自治領となったものの数を、解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|-----------|-------|
| アイルランド自由国 | オーストラリア連邦 | カナダ連邦 |
| ニュージーランド | 南アフリカ連邦 | |

問9 下線部(8)に関連して、1891年に起ったイランの民族運動の起点とされる大規模な民衆抗議運動の名称を解答欄に記せ。

問10 空欄 に入る、16世紀初頭にナーナクによって創始された、ヒンドゥー教とイスラーム教の融合的な宗教の名称を解答欄に記せ。

問11 空欄 に入る、インドの地名を以下から一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1 アムリットサル | 2 アンボイナ | 3 カーナティック |
| 4 カルカッタ | 5 ビハール | 6 ラホール |

問12 下線部(9)の思想と運動を19世紀後半に提唱した、イラン出身の思想家・革命家の名前を解答欄に記せ。

問13 空欄 に入るべき語を解答欄に記せ。

世界史

問14 下線部(10)の人物に関する以下の文章のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 第1次サティヤーグラハに参加した。
- 2 イギリス王室への忠誠を否定するインドの新憲法を、1950年に発布した。
- 3 1954年の周恩来との会談において、無併合・無償金・民族自決などを原則とする平和に関する布告を確認した。
- 4 社会主義型の経済建設を目指し、五カ年計画を推進した。

問15 下線部(11)に関連して、以下の文章のうち正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 1954年にイギリスからの独立を目指す民族解放戦線(FLN)が、アルジェリアで結成された。
- 2 1946年にアメリカから独立したフィリピン共和国の大統領に、フィリピン革命の指導者のアギナルドが就任した。
- 3 1932年にタイ立憲革命が起こり、タイはイギリスから独立した。
- 4 アメリカの黒人解放運動家デュボイスが、1919年にパリでパン＝アフリカ会議を開催した。

〔Ⅲ〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

1787年4月、ワイマール公国顧問官 **A** と同行の画家クニープは、地中海最大の島に上陸した。この島に深く魅せられた **A** は、「シチリアなしのイタリアというものは我々の心中に何らの表象をも作らない。シチリアにこそ全てに対する鍵があるのだ」と述べている。この頃この島は、フェルディナンド3世(ナポリ王フェルディナンド4世)の統治下にあった。1759年にスペイン王となったカルロス3世がシチリアの王位を息子に譲ったためである。**A** がパレルモに到着したのは、1789年以降ヨーロッパ全体を巻き込んだ大動乱の時代が始まるほんの少し前だったことになる。その後 **A** はワイマール公とともに1808年に、『若きウェルテルの悩み』の愛読者であったと言われるナポレオンと会見したことが知られている。ナポレオンが大西洋の孤島に去ったあとの1816年に、フェルディナンド3世は両シチリア王国の王フェルディナンド1世となった。このスペイン・ブルボン家の統治した両シチリア王国の最後の王となるのは、フランчесコ2世である。彼がまだ在位中であった1860年に、シチリアは **B** の率いる千人隊によって占領され、翌年には両シチリア王国はサルデーニャ王国に併合されてイタリア王国が誕生した。

A は、パレルモからセジエスタなどを経てアグリジェントを訪れる。アグリジェントは古代にはアクラガスと呼ばれるギリシア植民市であった。南イタリアのクロトンに拠点を置いていた **C** 派に学んだとされ、弁論術の祖と言われることもある自然哲学者エンペドクレスを生んだポリスである。

C はサモス島出身の自然哲学者で、「三平方の定理」を見出した人として名高い数学者でもあった。その後 **A** は、「小麦のたくさん産する地方」を見るために内陸へ向かい、紀元前135年に大規模な奴隷反乱が起こったことが知られているエンナを訪れ、さらにカターニャ、タオルミーナを経てメッシーナに到着した。

かつて、雄弁家をもって知られ、『国家論』を著した政治家 **D** は、シチリアに苛政を敷いた属州総督を糾弾する弁論の中で、シラクサをシチリアの「ギリシア都市の中で最大の都市であり、また最も美しい」と讃えた。そのシラクサ

世界史

訪問を断念してまで、A は内陸の地エンナへ向かった。それほどに、古来豊かな穀倉地として知られたこの島は、古代から外来者の侵略にさらされてきた。ギリシア人はすでに紀元前8世紀頃にはこの島の東部から南部にかけていくつかの植民市を建設している。後代、『地理誌』の著者として知られる、小アジア北部出身のギリシア人学者⁽¹⁾は、この島の植民市を含む南イタリアのギリシア植民市をとりまとめてマグナ・グラエキアと呼んだ。ペロポネソス戦争時にはデロス同盟の盟主として強大な海軍力を誇ったポリスが大規模な遠征軍を送ってきたこともある。ローマも主としてこの島の西部に拠点を有していたフェニキア人の植民市⁽²⁾と熾烈な争いを繰り広げ、紀元前3世紀中葉に戦われた戦争で勝利を取めた後にはこの島を最初の属州とした。民族大移動期になるとシチリアはE人やアを王とした東ゴート人の侵略を受けたが、534年にはE王国が、そして555年には東ゴート王国も、東ローマ帝国によってつぎつぎと滅ぼされていった。そしてシチリアも東ローマ皇帝の命を受けたペリサリウスによって征服された。さらに9世紀以降になるとシチリアはイスラーム支配の時代を迎えることとなる。アッバース朝の北アフリカにおける地方政権であったアグラブ朝がこの地を統治し、その崩壊後はファーティマ朝⁽³⁾の支配下に入った。Aが『ウィルヘルム・マイスターの修行時代』のなかで「君知るや南の国。レモンの花咲き、暗き木陰に、黄金なすオレンジ燃え」とミニヨンに歌わせた豊富な柑橘類は、このイスラーム支配時代にアラブ人によってもたらされたものと言われている。

その後12世紀にはシチリアはノルマン人の手に落ちていた。ノルマン人は8世紀頃から活発な動きを見せ始め、やがて各地に国を建て始める⁽⁴⁾。こうして建国された国の一つとして10世紀にイによって建てられたノルマンディー公国から出たウィリアムは、1066年にFの戦いに勝ってイングランドの征服者となった。すでにノルマン人アルタヴィツラ家の支配下にあったシチリアは、1130年にウの統治する王国となった。このいわゆるノルマン王朝の血統が絶えると、ウの娘を妻としていたハインリヒ6世が王位につきシュタウフェン朝を始める。ハインリヒ6世はドイツ王であり神聖ローマ皇帝でもあつ

た。やがてシチリア王となった、ハインリヒ6世の子 は、母親の郷であるパレルモの宮廷で育っている。彼は神聖ローマ皇帝となった後も、ドイツ統治を息子たちに任せてシチリアで暮らすことを好んだ。また、 はアラビアの学問にも関心を示し、12世紀にコルドバで生まれた哲学者 によるアリストテレスの哲学書に関するアラビア語の注釈を、翻訳させている。かくして の下でシチリアは繁栄を極めた。後にアンジュー家のシャルルと王位を争うことになるマンフレディは、 の庶子であった。1282年には、シャルルの支配に対する反感から、晩鐘の時刻にパレルモで大暴動が発生した。この事件の背後には、この事件の後にこの島を統治することとなるアラゴン王家や、かつてこの島を支配していたシュタウフェン朝の遺臣たちの策動があったとみられている。

その後シチリアはアラゴン家の支配の下に200年余りを過ごし、16世紀にはハプスブルク家の統治するところとなる。そして1700年にスペイン王カルロス2世が没すると、スペイン・ブルボン家の祖となる がスペイン王位につき、シチリアも彼の支配下に入った。 はカルロス3世の父である。しかしルイ14世の孫にあたる のスペイン王即位は、ユトレヒト条約によって終結するまで続く大戦争を引き起こすこととなった。その結果、シチリアはサヴォイア公ヴィットリオ＝アメデオの手に落ち、さらに一時カール6世の支配下に置かれた後、 の息子の統治するところとなったのである。かくして がこの島を訪れた時には、シチリアはスペイン・ブルボン家の支配下にあった。

問1 空欄 ～ に最も適した語を解答欄に記入せよ。

問2 下線部(1)について、この地理学者はだれか。解答欄にその人物の名前を記入せよ。

世界史

問3 下線部(2)について、下記の説明文のうちから正しいものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 この植民市はシドンによって建てられた。
- 2 ギリシア文字に採用されたフェニキア文字と、ヘブライ文字の祖となったアラム文字は同じ系統の文字として分類されている。
- 3 フェニキア人はアッカド人やアムル人の言語と全く別の系統に属する言語を用いていた。
- 4 この植民市はアレクサンドロスによって滅ぼされた。

問4 下線部(3)について、下記の説明文のうちから明らかに誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 この王朝は、スンナ派の一派であるイスマール派によって建てられた。
- 2 この王朝の創建者はカリフを名乗り、のちに同じくカリフを名乗ったイベリア半島の勢力と合わせて3カリフ鼎立時代を形成した。
- 3 この王朝は、第3回十字軍と戦ったクルド人武将によって滅ぼされた。
- 4 この王朝の第4代カリフは、エジプトを征服しカイロを建設して新しい首都とした。

問5 下線部(4)について、下記の選択肢のうちからノルマン人の建てた国を一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 セルビア王国
- 2 ノブゴロド国
- 3 ハンガリー王国
- 4 モラヴィア王国
- 5 リトアニア大公国

問6 空欄 ～ に最も適した語を下記の語群のうちからそれぞれ一つずつ選び、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 テオドリック
- 2 フェリペ5世
- 3 フリードリヒ2世
- 4 ルッジェーロ2世
- 5 ロロ